



岡山県 水島コンビナート

第57期 中間報告書

2018年11月1日～2019年4月30日

証券コード：7856

萩原工業株式会社

株主のみなさまには、平素より温かいご支援、ご理解を賜り、心よりお礼申し上げます。
第57期第2四半期の事業の概況についてご報告申し上げます。

業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調にあるものの輸出や生産の一部に弱さもみられ、また通商問題や不透明な国際情勢等に起因する海外の経済の腰折れ懸念が続くなど、不安定な経営環境にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」を基本方針とする中期経営計画（DH56）の内容を踏襲し、各種施策に取り組んでおります。

その結果、売上高147億88百万円（前年同四半期比16.8%増）、営業利益13億01百万円（前年同四半期比8.1%減）、経常利益12億63百万円（前年同四半期比14.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億67百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。

合成樹脂加工製品事業

合成樹脂加工製品事業におきましては、粘着テープ用基材及び海外向けラミネートクロスは順調でしたが、人工芝関連（原糸）などが低調でした。収益面では、足元の原料価格下落に伴う在庫評価引き下げが減益要因となりました。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、フレキシブルコンテナバッグが低調でしたが足元では回復基調にあります。インドネシア国内販売に注力し、収益底上げを図っております。

中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、米中通商問題を勘案し生産の一部を本社に移管したため減収となりました。

国内子会社「日本ファブウエルド株式会社」はおおむね順調でしたが、「東洋平成ポリマー株式会社」は原料価格高騰の影響が残る結果となりました。

その結果、売上高118億38百万円（前年同四半期比23.8%増）、営業利益9億32百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

機械製品事業

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、国内は紙・ラベル、軟包装材料及び光学材料向けが順調でしたが、海外は市場拡大の鈍化から東南アジア諸国の軟包装材料及び中国の工業系が共に低調でした。

押出関連機器は、食品容器用・高性能フィルム用スクリーンチェンジャー及び石化メーカー向け大型スクリーンチェンジャーが好調でした。

リサイクル関連機器は、社内リサイクルの増強を目的とした造粒装置や既存設備の保全部品等が堅調でした。

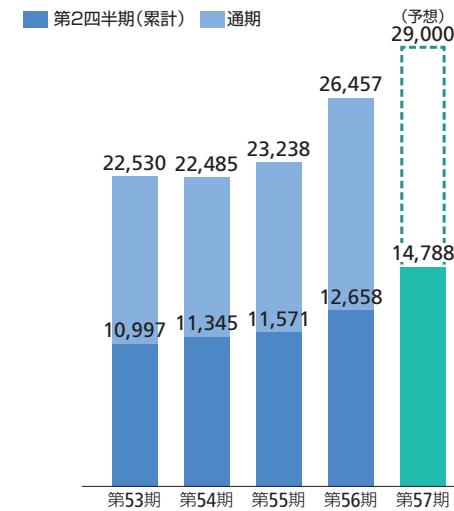
なお、海外展示会への積極的な出展がコスト要因となりました。
その結果、売上高29億49百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益3億69百万円（前年同四半期比11.9%減）となりました。

株主のみなさまには、引き続きご支援ご鞭撻をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

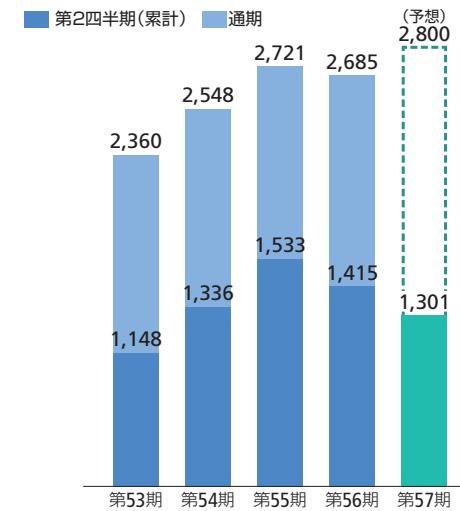


代表取締役社長 浅野和志

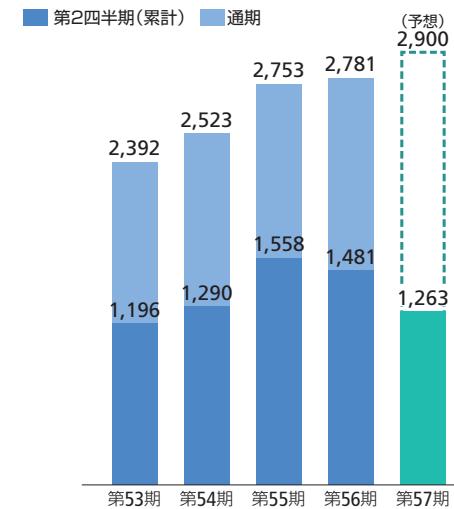
売上高



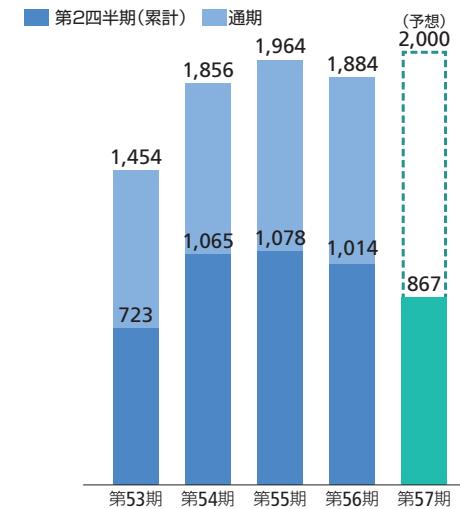
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



2019年10月期 第2四半期決算サマリー(連結)

■ 売上高
147億88百万円
前年同四半期比 **16.8%**増

■ 営業利益
13億01百万円
前年同四半期比 **8.1%**減

■ 経常利益
12億63百万円
前年同四半期比 **14.7%**減

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益
8億67百万円
前年同四半期比 **14.5%**減

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前第2四半期 2018年4月30日現在	当第2四半期 2019年4月30日現在	前期 2018年10月31日現在		前第2四半期 2018年4月30日現在	当第2四半期 2019年4月30日現在	前期 2018年10月31日現在
資産の部				負債の部			
Point 1 流動資産	17,721	19,160	19,522	Point 3 流動負債	6,616	9,131	8,884
Point 2 固定資産	10,433	13,062	12,267	Point 3 固定負債	1,104	1,462	1,789
有形固定資産	7,196	9,604	8,793	負債合計	7,720	10,593	10,674
無形固定資産	976	1,021	1,063	純資産の部			
投資その他の資産	2,260	2,435	2,410	株主資本	20,101	21,375	20,740
資産合計	28,154	32,222	31,789	資本金	1,778	1,778	1,778
				資本剰余金	1,393	1,469	1,469
				利益剰余金	17,327	18,601	17,966
				自己株式	△ 397	△ 473	△ 473
				その他の包括利益累計額	330	252	372
				その他有価証券評価差額金	30	8	23
				繰延ヘッジ損益	△ 1	0	△ 0
				為替換算調整勘定	141	153	226
				退職給付に係る調整累計額	160	88	122
				非支配株主持分	1	1	1
				純資産合計	20,433	21,629	21,114
				負債純資産合計	28,154	32,222	31,789

Point 1 流動資産

流動資産は、現金及び預金が減少しましたが、たな卸資産が増加したことにより191億60百万円となりました。

Point 2 固定資産

有形固定資産が増加したことにより、130億62百万円となりました。

Point 3 流動負債、固定負債

流動負債は、短期借入金等の増加により91億31百万円となりました。固定負債は、長期借入金等の減少により14億62百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自2017年11月1日 至2018年4月30日	当第2四半期(累計) 自2018年11月1日 至2019年4月30日	前期 自2017年11月1日 至2018年10月31日
売上高	12,658	14,788	26,457
売上原価	9,024	10,706	18,764
売上総利益	3,633	4,082	7,693
販売費及び一般管理費	2,220	2,780	5,007
Point 4 営業利益	1,413	1,301	2,685
営業外収益	105	69	182
営業外費用	39	107	87
Point 4 経常利益	1,479	1,263	2,781
特別利益	6	—	6
特別損失	—	—	7
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,485	1,263	2,779
法人税等	474	396	886
四半期(当期)純利益	1,010	867	1,884
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	0	0	0
Point 4 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,010	867	1,884

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 4 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

前年同四半期以降、原材料費の継続的な上昇により営業利益13億1百万円、経常利益12億63百万円、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益8億67百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自2017年11月1日 至2018年4月30日	当第2四半期(累計) 自2018年11月1日 至2019年4月30日	前期 自2017年11月1日 至2018年10月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	698	734	2,009
Point 5 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,810	△ 1,149	△ 3,341
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 321	△ 178	△ 837
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 9	7	20
現金及び現金同等物の 増減額(減少：△)	△ 1,443	△ 586	△ 2,149
現金及び現金同等物の 期首残高	6,317	4,167	6,317
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	4,873	3,580	4,167

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、工業用地の取得により11億49百万円の資金の減少となりました。

合成樹脂加工製品事業

世界で活躍する耐候性シート

シンガポールのインターナショナルスクール100周年イベントに設置された収容人数12,000人用の仮設テントで、当社製の耐候性シートが白天幕として使用されました。

400mトラックの内側全体に仮設テントが設置されており、赤道直下のシンガポール特有の強い日差しからイベント出席者を守る役割を担っております。

独立記念日イベント用紅白天幕、商業エリアで使用される屋外イベント用天幕、宗教行事用黄、青、緑色シートの多くも当社製耐候性シートです。

中国産といった安価品が主力のシンガポールにおいて、比較的高価な当社製シートが選ばれる理由は、耐候性・耐久性・加工性に優れている点にあります。シンガポールのお客様とは30年以上に亘る取引の歴史があり、前述の品質優位性が今日までの取引を可能にしております。

シンガポールに限らず、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリアでも多くの当社製耐候性シートが活躍しており、更なる拡大を目指しております。



機械製品事業

スリッター事業の次への仕掛け

スリッター機器における「切る」「運ぶ」「巻く」はコア技術ですが、これら要素技術開発を目的としたテスト機の開発を進めております。各種技術項目の製品への影響を運転中に確認でき、日々開発・進化する特殊フィルムの加工技術確立が可能です。また、産学連携によるデザイン工学を導入した小型巻直機は、デザイン賞も視野に入れた開発の最終段階に入っております。

アフターサービスを中心とした東南アジア拠点は、同業他社に先駆け、タイ王国バンコクに独資会社Hagihara Industries (Thailand) Co.,Ltd.を設立いたしました。2019年6月より業務を開始いたしております。

新規市場開拓、顧客ニーズ調査、知名度向上などを目的に、積極的な展示会出展を継続しておりますが、UAE（ドバイ）

展示会ではUAE企業のギニア工場向け設備を受注いたしました。今後も第58期に向けた仕掛けを継続してまいります。



笠岡港（港町地区）工業用地を取得

2019年1月、笠岡港（港町地区）工業用地を取得しました。

敷地面積は11.4ヘクタール、里庄工場のおよそ3倍もの敷地があります。

工業団地内には21社の企業立地が決まっており、既に操業を開始している会社もあります。

数年後には国道2号線バイパスの整備も完了し、アクセスも便利な工場になる予定です。

2019年2月には立地協定式が行われ、岡山県、笠岡市、当社による笠岡港（港町地区）工業用地への立地協定が締結されました。

今はまだ荒れ野原ですが、合成樹脂加工製品事業の旗艦工場として3年以内の着工を目指して計画を進めております。

工業用地の概要

立地場所	岡山県笠岡市港町1番37 (笠岡港（港町地区）工業用地⑤号地)
敷地面積	114,472.10㎡
取得価格	911,197,916円（7,960円/㎡）



Bridge OKAYAMA

昨年7月に発生した西日本豪雨災害。その復興支援として複数の企業・団体が協力して立ち上がったのが「BRIDGE OKAYAMA」。災害復興に使用されたブルーシートを回収し、トートバッグに再利用、その売上が復興義援金として役立てられます。



回収・洗浄後、
バッグに再利用



裏面は倉敷帆布でリバーシブル

HAGIHARA 設立 Industries (Thailand) Co.,Ltd.

当社が製造、販売を行っているスリッター及びリワインダーにおいて、タイ国内及びその周辺の東南アジアへの販売が順調に推移し、100台を超えました。販売の一層の強化を行うためにそれらの機械のアフターサービスや定期訪問が必要であると判断し、2019年3月、子会社「Hagihara Industries (Thailand) Co.,Ltd.」を新たに設立いたしました。今後成長が見込まれる東南アジア市場での販路拡大に努めてまいります。

Hagihara Industries (Thailand) Co.,Ltd.の概要

設 立	2019年3月1日
所 在 地	タイ王国 バンコク MD TOWER内
事 業 内 容	エンジニアリング事業部のアフターサービスを中心とした東南アジア拠点



■株式に関する事項

(2019年4月30日現在)

発行可能株式総数 36,000,000株
 発行済株式総数 14,897,600株
 単元株式数 100株
 株主数 6,489名

大株主（上位10名）

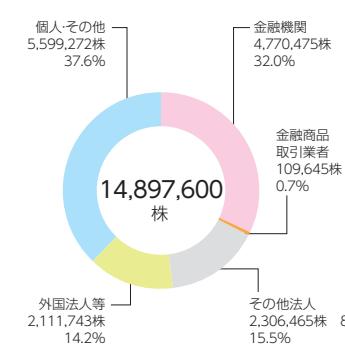
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,673	11.50
萩原株式会社	1,435	9.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,041	7.16
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	555	3.81
萩原邦章	524	3.60
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	470	3.23
日本ポリケム株式会社	400	2.74
萩原工業従業員持株会	398	2.73
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	245	1.68
NPBN-SHOKORO LIMITED	225	1.54

(注) 1. 当社は自己株式351,438株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

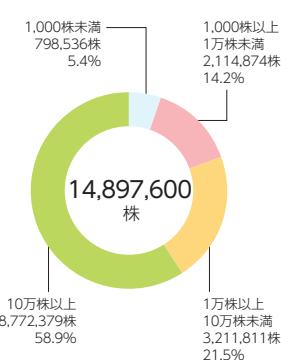
■株式分布状況

(2019年4月30日現在)

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



■会社概要

(2019年4月30日現在)

商号 萩原工業株式会社
 本社 〒712-8502
 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
 TEL.086-440-0860
 FAX.086-440-0869
 設立 1962年（昭和37年）11月29日
 資本金 17億78百万円
 従業員数 473名
 主な事業内容 ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

■役員

(2019年4月30日現在)

【取締役】	
代表取締役会長	萩原邦章
代表取締役社長	社長執行役員 浅野和志
取締役	専務執行役員 田中稔一
取締役	常務執行役員 笹原義博
取締役	執行役員 吉田淳一
取締役	執行役員 松浦正幸
社外取締役	中原裕二
社外取締役	大原あかね
【監査役】	
常勤監査役	金光利文
監査役	石井辰彦
監査役	三宅孝治
【執行役員】	
執行役員	飯山辰彦
執行役員	藤田学
執行役員	國定佳孝
執行役員	犬飼正樹
執行役員	笹木真尚
執行役員	川島薫

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
 証券コード 7856
 事業年度 11月1日から翌年10月31日まで
 定時株主総会 1月
 基準日 定時株主総会 10月31日
 期末配当 10月31日
 中間配当 4月30日
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告
 当社ホームページアドレス <https://www.hagihara.co.jp/>
 ※ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話 0120-094-777（通話料無料）

株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店におきましてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。